

編集後記

(64巻 第5号 2018年5月)

ホッとした気持ちで、この編集後記を書いている。京都でお世話させていただいたアジア泌尿器科学会と日本泌尿器科学会総会が無事終了した。参加者総数は8,400人で、多くの先生に京都の春を感じていただくことが出来た。アジアとの同時開催という事で同時通訳をつけたが、メイン会場に多くの先生方に来ていただけたようで、私達のプログラム編成の意図が反映されたことを嬉しく思っている。

心配していた天気も申し分なかった。アジア泌尿器科学会初日のウェルカムレセプション時には雨となったが、なんとか打ち上げ花火の余興も楽しんでもらえた。大覚寺での会長招宴は寒かったが、天気は良かったので良い意味で記憶に残る宴会になったと思う。故郷島根の大好きな石見神楽も合同懇親会で披露でき、私の夢の1つもかなった。参加して会を盛り上げていただいた先生方に、この場を借りてお礼を申し上げたい。本当にありがとうございました。

(小川 修)